



上電友の会だより

(空っ風通信)

「上毛電鉄友の会」の会報誌

第10号



Joden Supporters Club

赤城山麓を走る電車

上電が設立されたのは大正15年(1926年)の5月27日。

84年目を迎えた2010年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。今年で発足して6年目、これからもみんなでサポートして上電を盛り上げよう!

挨拶

友の会第10号発刊にあたって

猛暑の克服と温暖化の解決

本誌が発刊される7月末には、暑さ本番の季節となり、今年も9月上旬までは猛暑が続くことが予想される。熱中症のニュースも増え、炎天下を避けて移動することも含め、エアコンと車は、日本の夏に欠かせない。

私が子供の頃、エアコンや車は高嶺の花で、庶民の家庭に普及するとは夢にも思わなかった。扇風機とかき氷などで暑さをしのいだものだ。

当然のことだが、エアコンは、大気を完全冷却するものではなく、室内を冷やした分プラス電気代分の熱エネルギーの暖気を外に放出する。その熱風が一層の温暖化を進め、暑いからエアコンの消費が増える、という悪循環が続いて久しい。半世紀前に比べ、日本の主な都市の年平均気温は1℃以上上昇してきた。

温暖化などの地球の環境破壊が、昭和末期から叫ばれ始めた。その単純な解決策はなかり、暑さは一層厳しくなったが、この夏から、エアコンや車に浸った豊かな生活を、改めて考える必要があると思う。

(上毛電鉄友の会 代表 大島 登志彦)

総

平成28年度総会報告

毎年の通常総会、昨年まではハイキングの後の5月末に実施していましたが、年始の役員会で、今年4月の春イベントの後に実施、と決まりました。実は、資料の準備もそれなりに時間を要します。3月まで決算していることや中の人々の異動などもあり、イベントの準備も重なってバタバタした年度初めでした。



4月24日の15時過ぎ、イベントの片付けに目星が着いた頃、大胡駅から西桐生駅へ移動。桐生駅高架下の「ゆい」で、17時40分から開会です。会場には小学生を含む十数名の皆さんに、お集まりいただきました。大島代表の挨拶の後、平成27年度活動報告や決算、平成28年度の予定、役員変更(平岡副代表、遠藤役員が就任)など、事務局からの報告及び説明に基づき滞りなく進行し、全議案が参加者の拍手をもってご承認をいただきました。

その後、恒例の出席者の自己紹介と懇談があり、最後に古澤社長から祝辞を賜りまして、盛会のうちに閉会しました。事務局はほっとしました。

(新保正夫)

上電のゆず酒について

今年の4月イベント時にゆきゆず酒を埼玉の井上酒店ブースにて販売させていただきました。今回、酒蔵は赤城山沿いにある聖酒造さんにお願ひしました。キャラの性格?にあわせてあまずっぱくて元気なお酒ができました。ぜひご賞味ください。(お酒は二十歳を過ぎてからお願ひします。)あとはいずみちゃん・といちくんのお酒も出せたらいいなと思っています。

(平岡隆一)



予告

平成28年度スケジュール

■スケジュール

5/15(日)	東武鉄道伊香保軌道線跡ハイキング
7月下旬	風鈴電車飾り付けサポート
7/30(土)	ビール電車 ※裏面に詳細情報あり
10/23(日)	中小私鉄フェア 2016 サポート
11/6(日)	上電うごくギャラリー表彰式
11/20(日)	日立電鉄廃線跡ハイキング
11月下旬	クリスマスイブ飾り付けサポート
12月~3月	友の会スタンプラリー
1/3(火)	新春イベント2017 友の会トークショー

■随時

年2回	クリーンボランティア活動
-----	--------------

秋のバスハイク

11月20日(日) 日立電鉄廃線跡ウォーキング、ひたちなか海浜鉄道乗車&交流を予定しています。7月24日は下見を実施。今年は関越交通が主催するエクセレントツアーの商品となるはず。是非ご予約下さい。

(新保正夫)



刊

90周年史発刊に向け①

当会は発足当時から、上毛電鉄社史の編纂を行うことを支援事業の一つとして決めていました。通常、大手鉄道会社の場合、社内に専属の部署を設置するなどして、編纂事業をすすめます。しかし、上毛電鉄は地方公共団体から補助金を受け取りながら、地域輸送を行っています。そのため、社員も日々通常業務に追われ、社史の編纂作業を行うことができませんでした。

当会の代表である大島登志彦は、高崎経済大学教授として、地域交通の研究をしています。代表の書かれた論文の中には、上毛電鉄の設立ならびバス事業を研究したものがあります。また、群馬県立歴史博物館第76回企画展「ぐんまの鉄道」にも協力者として参加しました。

代表の研究実績に加え、沿線自治体の市町村誌、『グラフぐんま』、上毛新聞のデータベースなどをもとに、開業90年までの概要をまとめることにしました。現在は、資料の収集と整理の作業を始めました。

今後、開業100年、200年記念に向けて、より詳細な社史を出版できるように、上毛電鉄が所収する鉄道部品、文書、絵画などの目録を作成し、整理を行いたいとも考えています。

最後に友の会では、社史の記事を書いてくださる方、写真等を提供してくださる方を募集しています。メールにてご連絡ください。執筆依頼ならび提供いただいた資料の社史への掲載の可否は、役員ならび出版社の編集担当者にて決めさせていただきますことを、ご容赦ください。

(塩島翔)

春イベント報告

来る4月24日(日)、上毛電鉄大胡車庫にて春イベントが行われました。午前の部では友の会の平成27年度活動報告を行いました。この活動報告は、友の会のPRを兼ねた場として実施しました。午後の部では東武博物館名誉館長である花上嘉成氏によるトークショーが実施されました。かつて存在した上毛電鉄へ東武鉄道から直通する急行列車の逸話や、東武鉄道による戦後の赤城山観光開発についてなど、非常に興味深い話を聞くことができました。そのほか、ミニトレイン運行や前橋商業高校吹奏楽部などが行われました。(小林直樹)



伊香保廃線跡を歩く

今年度のハイキングは、昭和31年に廃線となった東武鉄道伊香保軌道線跡をたどり、伊香保温泉を楽しむことにしました。伊香保軌道線は、明治43年伊香保電気軌道として木暮武太夫を社長に開業したもので、昭和2年に東武鉄道により買収されました。渋川駅前から伊香保温泉までの12.6kmを最急勾配57.1%で上り下りしていた軌間1067mmの軌道線です。今回は、伊香保軌道線とともに存在した前橋駅、渋川駅間の前橋線跡を走る関越交通バスを利用して渋川入りして、伊香保温泉までの軌道跡を電車運転時の光景を記録した高崎市在住の田部井康修氏の写真と比べながら登山する計画としました。途中の見晴下からは、元東武バス車掌の大澤歳男氏に電車運行時の様子を聞きながらガイドいただきました。昼食・温泉付き休憩は、私設ケーブルカーがある宿として有名な「かのうや」で豪華な昼食に舌鼓を打ち、名湯を堪能するという企画としました。

(佐羽宏之)

現地の急勾配を知る故、電車が走っていた、という実感が今までありませんでした。私にとってはこの事実を確かめる旅でした。

当日は、曇り空でも歩くのにはちょうど良い天気でした。渋川駅から歩き始め、市街地のはずれで早速、スイッチバックの待避線跡が。もう見るからに急勾配で、線路があったとはにはわかには信じ難いです。しばらく行くと、地元の方に声を掛けられ、額入りの写真を手に当時の様子を語ってくれました。私の経験上、このようなことは2度目(会報6号参照)。どちらもやらせじゃない(本当に)からびつくりです！さらに登って御蔭という駅の跡。近所のおばあさんに、あの辺だと指さして教えてもらい、手元のしおりにある昔の写真と今の風景が重なり、この頃には、本当に電車が走っていたんだと既に実感していました。伊香保市街に入って、東武バス車掌だったというボランティアガイドの大澤さんに案内いただき、電車バスが客をとりあつた当時をお話いただきました。

そんな伊香保軌道線も、死者を出す暴走事故があつたとのこと。急勾配とは切り離せない危険。廃線を引き継いだ路線バスと、行きかうすべての人たちの安全を祈ります。(太田聡彦)



平成28年5月28日、7回目となる駅クリーンボランティアを、富士山下駅にて開催いたしました。これまでは粕川町内の駅を中心に清掃活動を行ってきましたが、今回は初めて桐生市内の駅での開催となりました。私を含めて参加者は6人と少なめではありましたが、約1時間半にわたり、周囲にたまった枯葉を集め、待合室のテープ跡を溶かして剥がすなどの作業を実施しました。テープ跡がうまく剥がれず苦戦するなどの出来事もありましたが、時折行き交う電車を眺め、終了後は駅前のレストラン「ていしゃば」で昼食を取りながら、しばしの間、鉄道の話に花を咲かせるなど、充実した時間を過ごさせていただきました。年に2回ほどの開催で、全駅を掃除するにはまだまだ程遠い状況ではありますが、皆さんと楽しく、少しでも上電の役に立ちたいという共通の思いで継続していきたいと思っております。いつもご協力くださっている皆さんに厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(楠山喬正)

いよいよ今年もこの季節がやって参りました。恒例のビール電車が、今年もまた走ります。

ビール電車とは、「レトロ電車」デハ101を貸し切り窓を開けて自然の風を浴びながら、吊り掛け駆動音を背景に美味しいお酒と美味しいおつまみをいただくという企画。前々回からは、あらゆる鉄道路線をモチーフに様々な楽曲を生み出しているテクノユニット・SUPER BELL"Zの野月貴弘さんをゲストに、鉄道好きの方ももちろん、そうでない方にも、より密度の濃い楽しい空間となっています。

■日時 平成28年7月30日(土)

■時間 午後2時～午後5時ころ(ダイヤ決まり次第発表)

■申し込み・詳細 ①氏名②ご連絡先③参加人数を明記の上、上毛電鉄友の会フェイスブック、上毛電鉄友の会メール(supporters@jomorailway.com)へお問い合わせください

■会費 4000円(飲み物は各自持参お願い致します)

気のおけない仲間同士他愛もないお喋りをしながら、心地よく揺れる車内でお酒を酌み交わす楽しさは何物にも代えがたい思い出です。

暑さをご愛敬、楽しい夏の思い出に、ビール電車はいかがですか？

(堀込聖美)



編集後記

はじめまして、新しく友の会の役員に就任させていただいた遠藤と申します。まだ暑くなる前ですが、クロスバイク(自転車)を買ったので前橋から桐生まで自転車で行き、上電のサイクルトレインで帰ってくることをやってみました。全国的にも珍しいサイクルトレイン。自転車×上電の組み合わせで、楽しい企画が生まれるといいですね。

(遠藤彰泰)

発刊 上毛電気鉄道 友の会

WEB <http://www.jomorailway.com/supporters/>

E-mail supporters@jomorailway.com